

市町村名 (市町村コード)	登米市 (04212)
地域名 (地域内農業集落名)	迫地区 (大古久・西館・内町・上舟丁・本田・横丁・新町・江合・大網・下舟丁・小金丁・畑中・的場・鉄砲丁・八幡堂・五日町・品ノ浦・茂栗・大浦・板橋・駒林・立戸・小友・大形・山ノ神・倉崎・坂戸・狼ノ欠・菱ノ倉・古宿・船越・天形・早坂・永田・八ノ森・山ノ上・相ヶ沢・中沢・舟橋・泥内・土手ノ内・山ノ内表・上沢・花台・富永・地糧・谷地・仮屋・三東・三西・飯土井・金堀・平柳・赤沼・東表・木戸脇・南平・吐出)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月22日 (第2回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

本地区の農用地は中心市街地を除く迫川両岸に展開するほか、平坦部には伊豆沼干拓地及び、これに連なる水田地帯が広がる地域である。水田の大半は30a区画に整備済みであるが、未整備地区の農地集積が課題となっている。高齢化に伴い出し手農家が増加傾向となり、団塊世代の農業者が引退した後の円滑な経営継承、若手農業者の確保が課題である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

篤農家による営農指導体制を構築し若い担い手の経営をサポートする。また、農業法人においては、一般企業なみの雇用環境を整備し就農イベントに限らず就活イベントなどへの出展を行い、広い範囲で人材募集活動を実施する。地元の小中学校、高校、大学、農業大学校の生徒が農業体験できる仕組みをつくり、SNSなどを通じて地元の学生が農業に触れる様子を発信する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	3,137 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	2,577 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

--

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。